

授業科目名	中国語Ⅰ	担当教員	外国語教育センター 王 欣
開講年次・学期	1年前期	必修/選択	選択必修
開講形態	演習	時間数/単位数	2単位
<b>授業概要</b>			
<p>読む・書く・聴く・話すという4技能のバランスに配慮して、中国語の基礎的運用能力を身につけることが目的です。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化の多元的理解を目指します。</p>			
<b>達成目標（達成度）</b>			
<p>中国語では、以下の4項目を中国語Ⅰ・Ⅱ4単位修得時の到達目標としています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国語能力検定試験（中検）4級程度の中国語を理解し、適切に運用することができる。（知識・態度・技能）</li> <li>2. 現代中国語圏文化を理解することができる。（知識）</li> <li>3. 英語以外の外国語を学ぶことで、日本語、日本文化をより客観的に見る視点を獲得し、多くの文化が共生する地球に生きている自覚と責任を持つことができる。（態度）</li> <li>4. 大学生として新たな外国語を学ぶことで、これまでの学習方法や学習観を自ら振り返って客観化でき、それらを主体的・能動的に転換することができる。（態度・技能）</li> </ol>			
<b>授業内容</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業のオリエンテーション</li> <li>2. 中国語の発音(1)（単母音・声調）</li> <li>3. 中国語の発音(2)（子音・複合母音）</li> <li>4. 中国語の発音(3)（鼻母音・発音規則）</li> <li>5. “是”構文，人称代名詞，“吗”疑問文，副詞“不”“也”“都”</li> <li>6. 動詞述語文，疑問詞疑問文(1)，構造助詞“的”，指示代詞</li> <li>7. 形容詞述語文，反復疑問文，程度副詞“非常，不太，有点儿”の用法</li> <li>8. 授業前半のまとめ 中間試験（授業時間中に担当教員が実施）とその検討</li> <li>9. 存在表現“有”“在”の用法，副詞“只”の用法，方位詞</li> <li>10. 量詞，否定表現“没”，名詞述語文，時刻などの言い方，</li> <li>11. 二重目的語を取る動詞，前置詞“为”の用法，年月日・曜日・季節</li> <li>12. 中国語の連動文，疑問詞疑問文(2)，“几”と“多少”</li> <li>13. お金の言い方，語気助詞“吧”の用法，禁止の表現“别”</li> <li>14. 中国語のアスペクト(1)：進行相“在”，完了相“了”，“还没”</li> <li>15. 中国語のアスペクト(2)：経験相“过”，数量補語，語気助詞“了”テスト</li> </ol>			
<b>授業の進め方</b>			
<p>金曜日1・2時限及び5・6時限に松江キャンパスで学びます。</p> <p>中国語は、中国語をはじめて学ぶ人を対象とし、発音の基礎及び初級レベルの文法事項をマスターすることを目標としています。また、日常生活に必要な表現を学び、中国語の運用能力を身につけます。</p> <p>具体的には、発音段階では、ピンインや声調を繰り返して練習し、中国語の発音をしっかりと身につけます。第6課以降は、おおよそ次のように学習していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 各課の新出単語の読み方を確認し、意味や用法等を説明します。</li> <li>(2) 本文を聞き、声に出して発音します。各課の文法項目を詳しく説明すると共に、作文練習をします。</li> <li>(3) 短文の「理解を深めよう」を聞き、読むことによって関連の単語や文法項目や表現等への理解を深めていきます。</li> <li>(4) 練習問題で既習した内容を総合的に確認し、重要文型や関連内容を確実にマスターします。</li> <li>(5) 授業中、作文や会話の練習を多く取り入れ、学んだ知識を運用できるように訓練します。また必要に応じて宿題を出します。</li> <li>(6) 授業の内容に合わせて様々な中国事情・文化を適宜に紹介します。</li> </ol>			
<b>授業キーワード</b>			
中国語,現代中国語圏文化,言語運用能力,多文化理解			

<b>テキスト</b>
オリエンテーションにて説明します。
<b>参考文献</b>
辞書など授業で説明します。
<b>その他授業資料等</b>
プリントなど、授業において適宜配布します。
<b>成績評価の方法</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中間試験40点…達成目標 1・2(知識・態度・技能)の評価</li> <li>2. 期末試験40点…達成目標 1・2(知識・態度・技能)の評価</li> <li>3. 平常点20点(何を平常点とするかは授業のオリエンテーションで説明します) …達成目標 3・4(態度・技能)の評価</li> <li>4. 正当な理由なく9回以上欠席した場合は成績評価の対象外となります</li> </ol>
<b>履修上の指導</b>
<p>授業1回あたり、1時間～1時間半の授業外学習が前提です。</p> <p>中間試験の成績が60%未満の人は、点数に応じた補習を受けることができます。決められた補習をきちんと行った人の中間試験成績は、60%に補正されます。</p>
<b>オフィスアワー</b>
<p>外国語教育センターワークステーションで行います。</p> <p>教員タイムテーブル (<a href="http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html">http://cfle.shimane-u.ac.jp/center/timetable.html</a>) を参照してください。</p>
<b>その他</b>
<p>外国語教育センターホームページ：<a href="http://cfle.shimane-u.ac.jp/">http://cfle.shimane-u.ac.jp/</a></p> <p>中国語ホームページ：<a href="http://cfle.shimane-u.ac.jp/chinese/">http://cfle.shimane-u.ac.jp/chinese/</a></p>